

# 新しい仲間を 迎え入れるために

副会長 堂野 達之 (52期)

主な担当業務:憲法, 子ども, 性平等, 高齢者・障害者, 外国人の人権, 公害・環境, 消費者, 司法改革, 中小企業センター, 活動領域拡大, 若手支援, 新進会員, 業務妨害対策, FATF, 税務, 労働法制, 公益通報



当会は、元来、人を大切に育て、お互いに助けあう気風をもっています。その良さを活かし、多様な個性で伸び伸びと活動していくために、今年度執行部は、多くの新入会員を受け入れることに力を入れています。

当会は、2019年度から新入会員増加推進WGを立ち上げ、新入会員を広く迎え入れる体制作りに努めています。

まず注力しているのは、組織内弁護士（インハウスロイヤー）をより多く受け入れるための環境整備です。既に当会には、2021年6月時点で全会員の1割を超える940名以上の組織内弁護士が在籍しています。多くの組織内弁護士が当会の会務に参画してその知見や経験を活かしつつ、当会の研修や企画などを自身のキャリア向上に役立ててもらうことが理想です。

現段階では、当会所属の組織内弁護士へのヒアリング、組織内弁護士向けFAQの作成検討、弁護士業務改革委員会インハウス部会（既に多くの組織内弁護士が所属しています）との意見交換などを行っています。

また、当会には、法律研究部が22もあります。理事者として大手事務所を訪問した際、「東弁と言えば法律研究部だよ」という声を、何人ものパートナー弁護士からお聞きました。中にいるとあまり意識しないのですが、ベテランから若手まで幅広い人材を擁し、多様な活動を広げている法律研究部は、当会の貴重な財産です。この強みを当会以外の弁護士にもPRしていきます。

一弁二弁に比べ、当会は中小規模の事務所が多いと言われます。当会所属の経営弁護士（いわゆるボス弁）

が勤務弁護士（いわゆるインソ弁）を採用することのバックアップが大切です。去る10月12日、3名の若手経営弁護士が自身の体験談を語るセミナー「東京で独立開業した。～勤務弁護士の採用・育成術～」をウェビナーで開催したところ、50名を超える会員が参加し、リアルで具体的な話を聞けたということでアンケートも大変好評でした。今後も勤務弁護士の採用・育成をテーマにする企画を続けたいと思います。

併せて、一大イベントである三会合同就職説明会は、今年度は意識的に周知に努めたため、例年よりも当会所属事務所の参加数が増えました。通常、6月から7月に採用側の応募を受け付け、10月初旬に開催しています。会員サイトでも告知しますので、ご関心のある方は次年度以降もご参加ください。

当会所属の新入会員のアンケートを見ると、当会に入会した理由として、勤務先が東弁だという理由を除けば、司法修習の配属先の事務所が東弁で、大切にしてもらった、充実して楽しかったという回答が結構多いです。会員の皆さんも修習生と接する機会が多いと思いますが、どの弁護士会に入るべきか悩んでいる修習生がいたら、そこは迷わず当会をおススメしてください。

他にも、当会の魅力を紹介したパンフレット「東京弁護士会で伸ばす!」\*1を作成しました。是非ご活用ください。また、当会の強みであるネット研修についても、約600のコンテンツについて種類や内容を一覧で見やすくする工夫などを検討しています。

会員の皆さんには、我々の仲間である新入会員を迎え入れるためのご協力をいただきたく、よいアイデアがありましたら、遠慮なく私までお寄せください!

\* 1 : [https://www.toben.or.jp/res/images/syusyusei/flyer\\_211104.pdf](https://www.toben.or.jp/res/images/syusyusei/flyer_211104.pdf)